

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
350	高年齢者住宅改造成業	01	一般会計		
		03	民生費		
6	高齢者の健やかな生活を支える	02	老人福祉費		
		01	老人福祉総務費		
		102	在宅老人援護事業		
		04	高齢者住宅改造成業		
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	102	在宅老人援護事業
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	細々目	04

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	在宅の高齢者や高齢者等と同居する者	住宅改造成業を助成することにより、居住環境の改善促進を図ることにより、高齢者の在宅生活を支援し、地域で安心して暮らせる。			
本年度事業内容	伊賀市に住所を有する者で、住宅改造成業を真に必要と認めためたもので次に掲げる者に要した住宅改造成業にかかる経費を助成する(所得税非課税世帯のみ、3分の2助成、補助限度額40万円) (1)介護保険法第45条の規定による居宅介護住宅改修費の支給対象者及び居宅支援住宅改修費の支給対象者 (2)障害老人の日常生活自立度判定基準によるランクA、B及びCの高齢者並びにランクJの単身高齢者 ※三重県の補助基準に基づく助成。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市高齢者及び障害者住宅改造成業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	373	2,998	2,998
補助金	373	2,998	2,998
その他			
合計(A+B)	1,093	3,718	3,718
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金	181	1,499	1,499
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	912	2,219	2,219
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
支給件数	件	2	8	8			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率 (助成利用者/助成必要者)	高齢者住宅改造成業助成必要者を分母とし、助成利用者を分子として対象者の適用比率を指標とした。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度について地域ケア会議等を通じて、社会福祉関係者、民生委員及びケアマネージャーに対して周知啓発を行っている。 ・介護保険制度の改正等の動向も踏まえて、助成額や対象者の変更を行っている。

評価	必要性	4	介護保険法における住宅改修費用では、限度額が十分でないことから、十分な改修が行えないケースがあります。よって、今後も継続して助成する必要があります。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		